

脳神経外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「破裂内頸動脈前壁血豆状動脈瘤の治療方法と予後に関する

全国実態調査」への協力をお願い

脳神経外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013年1月1日～2017年12月31日に当科において、破裂内頸動脈前壁血豆状動脈瘤に対して手術加療を受けられた20歳以上の患者さんです。

研究の方法・目的：いまだに治療困難である破裂内頸動脈血豆状脳動脈瘤に対する治療方法の選択および治療成績、中長期予後の実態を、全国の脳神経外科主要施設に対してアンケート調査を行い、多数のデータを収集、解析することで明らかにし、今後の治療指針に資するデータを提供することを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：診療録の情報のうち、年齢、性別、家族歴、既往歴、生活習慣、発症日、病変の神経放射線学的特徴、疾患に対する治療の詳細、治療合併症の有無とその詳細、退院時および最終受診時の神経学的予後について。

外部への試料・情報の提供：匿名化されたうえ日本脳卒中の外科学会事務局の管理するWebで情報の授受を行います。個人情報特定されることはありません。

研究への参加辞退をご希望の場合：本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。なお、本研究は、当院臨床研究審査委員会で審査され、病院長の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究期間

病院長承認日から平成31年9月30日まで

予定症例数

当院 10 例（全体 300 例）

医学上の貢献

研究成果は臨床データを解析することにより、患者さんの治療と健康に貢献できます。

2013 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの期間で、本院で手術を受けられた方の中で、本研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡ください。あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。ただし、ご連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることが出来なくなります。

問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学附属病院脳神経外科

本院研究責任者 三國 信啓

同研究分担者 三上 毅

平日 Tel(011)611-2111 内線 33510（教室）

休日・時間外 Tel (011)611-2111 内線 33580（8 階北病棟）

共同研究施設

岐阜大学医学部脳神経外科

研究責任者 木内 博之